

活動の概要

タイトル

「ぼうじぼ」でつながる人と地域

活動の背景や目的、活動内容について（200字程度）

長久保五行会はさくら市西部の長久保地区で活動している組織である。農村環境の維持管理の負担軽減を目的として平成28年に設立された。草刈り、泥上げ等農地維持活動を中心とし、設立時より地域住民全員が参加できるような活動をすることも計画しており、その一環としてぼうじぼ作りを行っている。ぼうじぼは豊穣祈願の道具であり、ぼうじぼ作りは地域の育成会の行事として行ってきた。その準備や作業を五行会が行い、子どもとの交流の機会をつくっている。

活動の特徴や地域との繋がりについて（150字程度）

本活動は、育成会で行われてきた地域のイベントの一つであるが、活動に五行会が参加することで地域の農業と子どもたちの関わりを深めることができている。また、ぼうじぼ作りに必要な藁を地域の農業法人より提供いただくなど、地域全体での活動となるよう尽力している。

活動の効果波及について（150字程度）

この活動には、60人以上の参加者がおり、普段の草刈りや泥上げといった活動と比べ多くの方に参加いただいている。また、子どもたちが農業に触れるよい機会となっている。また、この活動に興味を持った他市の組織も参加したこともあり、交流を通じて異なった環境で活動している組織の意見を聞ける貴重な機会となっている。

推薦理由（200字程度）

農業との接点が希薄になっている現代において、長久保五行会では本活動のように育成会、ひいては行政区としての活動に積極的に参加している。これにより、子どもたちや保護者との接点をつくり、非農家でも農業に関わる接点をついている。このような活動を通して、伝統的な行事を守るとともに、農業をより身近にしているという点で農業振興に十分寄与していると考えられ、本活動を推薦する。